

## 資料目次

資料 1	要望書	・・・	1
資料 2	大分大学工学部設置計画 (概要)	・・・	1 5
資料 3	大分大学工学部設置計画 (社会的背景 1)	・・・	1 6
資料 4	大分大学工学部設置計画 (社会的背景 2)	・・・	1 7
資料 5	大分大学工学部設置計画 (地域の要望)	・・・	1 8
資料 6	大分大学工学部設置計画 (学部改組概要)	・・・	1 9
資料 7	大分大学工学部設置計画 (教育プログラム)	・・・	2 0
資料 8	第 2 期大分県科学技術振興指針について	・・・	2 1
資料 9	専任教員の年齢及び性別構成	・・・	2 2
資料 1 0	履修モデル	・・・	2 4
資料 1 1	学部長等選考について	・・・	3 2



## 要 望 書

国立大学法人大分大学

学長 北 野 正 剛 殿

貴学が構想している「工学部の理工学部への改組」の早期実現を以下のとおり要望します。

経済のグローバル化が進む中、製造業では新興国との国際競争が激化しています。また、近年では少子高齢化、人口減少に伴う労働力の減少や国内市場の縮小が危惧されています。こうしたことを背景に、大手製造業における事業再編や生産拠点の集約・海外移転の加速化などが懸念されています。

一方、中小企業においては、技術の高度化やニーズの多様化、製品の高品質化・低価格化・納期短縮への対応など、立ち向かわなければならない課題が山積しています。

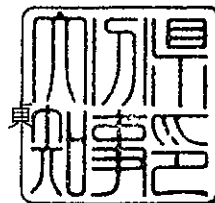
県内企業が、こうした課題を克服し、競争力を維持・向上しながら成長していくためには、国際感覚や豊かな感性を持った創造的な人材を確保・育成していくことが極めて重要です。また、経営資源に乏しい中小企業にとって、技術力向上の取組に対する支援や、産学官連携による共同研究、試験研究機関の機能強化・充実などは必要不可欠です。

このたび、貴学の工学部から理工学部への改組は、技術基盤の基礎から応用まで多様な理工系の人材育成を目指すとともに、物質科学・生命科学などこれまで県内に不足していた研究領域を埋めるものです。改組後は、地域ニーズを的確に捉えた研究基盤の一層の強化が図られ、本県が取り組む政策の推進にも非常に有意義となります。産業界にとっても、イノベーションとグローバル化に対応できる実践的な技術者の確保が期待できることから、誠に時宜を得たものと考えられます。

県では、知の拠点として貴学の発展に大いに期待をしています。これまで以上に政策面での連携・協働を図っていく所存であり、改組を強く要望するものです。

平成28年3月2日

大分県知事 広瀬 勝



## 要 望 書

国立大学法人大分大学

学 長 北 野 正 剛 殿

貴学におかれましては、県内唯一の国立大学法人として、経済、産業、教育、医療等の各方面にわたり地域の発展に多大な貢献をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

また、昨年9月には文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」の採択を受け、その事業責任大学として、地域で活躍する人材の育成や大学を核とした地域産業の活性化等を推進するため、関係機関と協働し、県内における雇用創出や学卒者の地元定着率の向上等に取り組みられておりますことに心から敬意を表します。

さて、グローバル化が進展する世界経済において、新興国の台頭や主要貿易国間での経済連携の拡大が進む中、我が国もこれらに対応するための競争力強化等が喫緊の課題となっています。

新産業都市指定以来、国内有数の産業都市へと発展してきた本市においても、直近の経済状況は一部大手企業において製造品出荷額の持ち直しが見られるものの、中小企業を含めた製造業全体としては事業所数や就業人口に減少傾向が見られるなど、製造業の経営を取り巻く環境は、依然として厳しい状況が続いています。

国際競争が激化し、大手企業における生産拠点の海外移転の加速化も懸念される中、加工技術の高度化、高品質化、低価格化、納期短縮など、とりわけ中小企業が立ち向かわなければならない課題は厳しさを増しており、持続的に成長する地域産業を育てるためには、科学技術の絶えざる技術革新の成果を市民生活や地域産業に結びつける活動をさらに強化していくことが求められております。さらに、科学技術が高度化する中、多様なニーズに対応した新製品・新技術開発に取り組む豊かな感性を持った創造的な人材の育成・確保も重要な課題となっております。

このような中、貴学工学部の理工学部への改組の構想は、工学に理学的要素、理学に工学的要素を取り入れた融合・複合マインドを持ったイノベーションやグローバル化に対応できる人材育成を目指すものであり、地域産業の活性化はもとより、本市の発展にも寄与するものとして待ち望まれるものです。

つきましては、貴学工学部の改組が早期に実現され、豊かな感性を持った創造的な人材が数多く輩出されることにより、地域の発展に一層貢献していただきますよう要望いたします。

平成28年3月10日

大分市長 佐藤樹一郎



# 要 望 書

国立大学法人大分大学

学 長 北 野 正 剛 殿

現行の学習指導要領の実施等により高等学校での選択の幅は拡がり、この結果、特定の分野について高い能力と強い意欲を持ち、また、多くの生徒が、大学等の高等教育機関での教育・研究を受けることを希望し、実際、進学者の増加を続けています。また、理学・工学系の学部を希望する多くの生徒は、「興味や関心のあることを勉強したい」、あるいは「社会で役立つ知識や技能を身に付けたい」の希望に加えて、「専門的な知識や技術を身に付けたい」の希望も挙がっております。このような希望に応えるためには、そして、このような生徒の能力・意欲に応じた教育の実現を目指していくためには、「大学」での教育を実情に併せて変えていく必要があります。

また、平成23年に改訂した新大分県総合教育計画では、創造性や独創性を持った人材を育成するため、こどもたちの科学や環境問題に対する興味・関心を高める理科・科学教育や環境教育を充実するとともに、将来、実社会の中で活躍できるようキャリア教育を推進することとしています。

こうした中、このたび貴学の工学部から理工学部への改組の構想はまさしく計画されている多様な人材育成を目指すものであり、多くの生徒が希望する「興味や関心のあることを勉強したい」、あるいは「社会で役立つ知識や技能を身に付けたい」に対応するもので、本県の高校生にとっても非常に有意義で、時宜を得たものです。

学部の早期改組により、本県の高校生の進路選択の幅が増えることを大いに期待いたします。

平成27年 3年22日

大分県立学校長協会 会長

宮 協 和 仁



# 要 望 書

国立大学法人大分大学

学 長 北 野 正 剛 殿

少子化による大学全入時代を控え、大学が学生を選ぶ時代は終焉を迎え、高校生徒が大学を選ぶ時代へと変化しつつあります。また、学歴、企業志向の傾向が弱まり、高校生やその保護者が大学に求めることも変化しています。このことから、高校生の進路選択の方法にも変化が起き、その傾向の一つとして、これまでと異なり、興味・適性、あるいは将来就きたい職業から、進学する大学・学部・学科・コースを選ぶ傾向が強まってきています。この様に大学に求められる役割・機能が急速に変化し、個人の価値観および進路が多様化してきております。

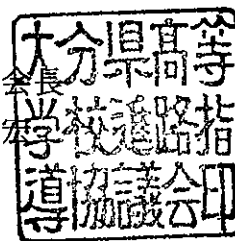
一方で、平成23年に改訂した新大分県総合教育計画では、創造性や独創性を持った人材を育成するため、子どもの科学や環境問題に対する興味・関心を高める理科・科学教育や環境教育を充実するとともに、将来、社会の中で活躍できるようキャリア教育を推進することとしています。

こうした中、このたび貴学の工学部から理工学部への改組の構想はまさしく多様な人材育成を目指すものであり、本県の高校生にとっても非常に有意義で、時宜を得たものです。

学部の早期改組により、本県の高校生の進路選択の幅が増えることを大いに期待いたします。

平成27年11月30日

大分県高校進路指導協議会  
後 藤 雅



# 要 望 書

国立大学法人大分大学

学 長 北 野 正 剛 殿

現行の学習指導要領の実施等により高等学校での選択の幅は拡がり、この結果、特定の分野について高い能力と強い意欲を持ち、また、多くの生徒が、大学等の高等教育機関での教育・研究を受けることを希望し、実際、進学者の増加を続けています。また、理学・工学系の学部を希望する多くの生徒は、「興味や関心のあることを勉強したい」、あるいは「社会で役立つ知識や技能を身に付けたい」の希望に加えて、「専門的な知識や技術を身に付けたい」の希望も揚がっております。このような希望に応えるためには、そして、このような生徒の能力・意欲に応じた教育の実現を目指していくためには、「大学」での教育を実情に併せて変えていく必要があります。

また、平成23年に改訂した新大分県総合教育計画では、創造性や独創性を持った人材を育成するため、こどもたちの科学や環境問題に対する興味・関心を高める理科・科学教育や環境教育を充実するとともに、将来、実社会の中で活躍できるようキャリア教育を推進することとしています。

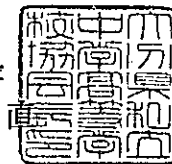
こうした中、このたび貴学の工学部から理工学部への改組の構想はまさしく計画されている多様な人材育成を目指すものであり、多くの生徒が希望する「興味や関心のあることを勉強したい」、あるいは「社会で役立つ知識や技能を身に付けたい」に対応するもので、本県の高校生にとっても非常に有意義で、時宜を得たものです。

学部の早期改組により、本県の高校生の進路選択の幅が増えることを大いに期待いたします。

平成28年1年12日

大分県私立中学高等学校協会 会長

小 山 康



# 要 望 書

国立大学法人大分大学

学 長 北 野 正 剛 殿

科学技術の発展には、研究者・技術者などの人的資源の充実が必要不可欠です。知識が社会・経済の発展の源泉となる「知識基盤社会」においては、自ら課題を発見し解決する力、コミュニケーション能力、物事を多様な観点から考察する力、様々な情報を取捨選択できる力などを育成する必要があり、大学には、次代を担う子どもたちの「生きる力」を育み、社会に貢献できる人材育成が求められています。

新しい学習指導要領では、この中の改訂のポイントの一つとして理数の力を育むことがあげられており、基礎となる自然科学、特に数学においては、繰り返し学習や学習の中で学んだことを実生活で生かす学習の推進が挙げられ、数学的な見方や考え方を育てるための、演習等の充実が掲げられています。

平成23年に改訂した新大分県総合教育計画では、創造性や独創性を持った人材を育成するため、子どもたちの科学や環境問題、さらには数学に対する興味・関心を高める理科・科学教育や環境教育を充実するとともに、将来、実社会の中で活躍できるようキャリア教育を推進することとしています。

こうした中、このたび貴学の工学部から理工学部への改組の構想の中で、数理科学コース設置は、まさしく計画されている多様な人材育成を目指すものであり、本県の高校生にとって、とりわけ、これまでになかった数理科学を目指す生徒にとっては非常に有意義で、時宜を得たものです。

本県高校生の進路選択の幅が増え、深い学びへの意欲の向上が大いに期待されるため、貴学工学部の早期改組を要望いたします。

平成27年12月 3日

大分県高等学校教育研究会  
数学部会長 佐藤 則行





# 要 望 書

国立大学法人大分大学

学 長 北 野 正 剛 殿

日本が技術立国として、今後も持続的に発展していくためには、研究者・技術者などの人的資源の充実が必要不可欠です。知識が社会・経済の発展の源泉となる「知識基盤社会」においては、自ら課題を発見し解決する力、コミュニケーション能力、物事を多様な観点から考察する力、様々な情報を取捨選択できる力などを育成する必要があり、大学には、次代を担う子どもたちの「生きる力」を育み、社会に貢献できる人材育成が求められています。また、情報通信技術の進展により社会の価値観が大きく変容しており、その中で情報技術を開発し、適正に運用できる人材の育成も求められています。

新しい学習指導要領では、理数の力を育むことがあげられており、基礎となる自然科学、すなわち数学、理科（物化生地）では、科学的な見方や考え方を育てるための、観察・実験等の充実が掲げられています。さらに教科「情報」では今後進展する知識基盤社会で必要になる情報活用の実践力や合理的判断力、創造的思考力などの育成も必要とされます。

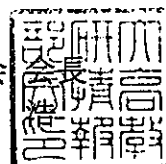
さらに、平成23年に改訂した新大分県総合教育計画では、創造性や独創性を持った人材を育成するため、こどもたちの科学や環境問題に対する興味・関心を高める理科・科学教育や環境教育を充実するとともに、将来、実社会の中で活躍できるようキャリア教育を推進することとしています。

こうした中、このたび貴学の工学部から理工学部への改組の構想の中で、自然科学コースの設置、情報系教育の充実は、上述されているような多様な人材育成を目指すものであり、本県の高校生にとって、これまでになかった自然科学コースを目指す生徒、情報科学に興味を持つ生徒にとっても非常に有意義で、時宜を得たものです。

学部の早期改組により、本県の高校生の進路選択の幅が増えることを大いに期待いたします。

平成28年 2月 8日

大分県県立高校情報部会  
榎 崎 信



# 要 望 書

国立大学法人大分大学

学 長 北 野 正 剛 殿

科学技術の発展には、研究者・技術者などの人的資源の充実が必要不可欠です。知識が社会・経済の発展の源泉となる「知識基盤社会」においては、自ら課題を発見し解決する力、コミュニケーション能力、物事を多様な観点から考察する力、様々な情報を取捨選択できる力などを育成する必要がある、大学には、次代を担う子どもたちの「生きる力」を育み、社会に貢献できる人材育成が求められています。

新しい学習指導要領では、この中の改訂のポイントの一つとして理数の力を育むことがあげられており、基礎となる自然科学、特に物理・化学においては、繰り返し学習や学習の中で学んだことを実生活で生かす学習の推進が挙げられ、理科（物化生地）では、科学的な見方や考え方を育てるための、観察・実験等の充実が掲げられています。

平成23年に改訂した新大分県総合教育計画では、創造性や独創性を持った人材を育成するため、子どもたちの科学や環境問題に対する興味・関心を高める理科・科学教育や環境教育を充実するとともに、将来、実社会の中で活躍できるようキャリア教育を推進することとしています。

こうした中、このたび貴学の工学部から理工学部への改組の構想の中で、自然科学コースの設置は、まさしく計画されている多様な人材育成を目指すものであり、本県の高校生にとって、これまでになかった自然科学コースを目指す生徒にとっても非常に有意義で、時宜を得たものです。

学部の早期改組により、本県の高校生の進路選択の幅が増えることを大いに期待いたします。

平成27年11年26日

大分県高等学校教育研究会理科部

会 長

宮 脇 和 伸



# 要 望 書

国立大学法人大分大学

学 長 北 野 正 剛 殿

本県では、これまで鉄鋼や石油化学などのコンビナート立地企業を始め、自動車や精密機械、半導体関連など幅広い分野の企業誘致を積極的に行ったことで、これら誘致企業と地場企業の連携によるものづくり産業の集積が形成されております。

しかしながら、これらを取り巻く事業環境は、円安による輸出の持ち直しなどにより、景気は回復軌道にあるものの、アジアをはじめとする新興国との熾烈な価格競争、原材料高や電力供給の制約、大手企業の生産拠点の集約化や海外への生産移管などにより、依然として厳しい状況にあります。

本県のものづくり産業が持続的な発展を続けるためには、本県の産業集積のポテンシャルを最大限に発揮するとともに、航空機産業、医工連携やI o Tなど今後成長が期待される分野への企業参入を促進するなど、地場企業によるイノベーションを促進することが重要であり、そのためには、次世代を担う、特に科学技術分野の知識や経験を十分に備えた人材の育成を図ることが求められています。

また、本県には、味噌、醤油、焼酎をはじめとする多様な食品、日田市の家具・木製品、別府市の竹細工や県下各地に豊富に湧き出る温泉など特色ある地域資源が数多く存在します。

地方創生が待ったなしの中、これら地域資源の強みや潜在力を最大限引き出し、全国に通用する新商品の開発や販路開拓を促進することで、地域に根ざした力強い産業を創出していくことが重要であり、その担い手である創造力、技術力のある人材の確保が課題となっています。

こうした中、貴学工学部の理工学部への改組の構想は、理学と工学の融合によりイノベーション創出環境の一層の整備に貢献されるものであり、地場企業が抱える多様な課題の解決やグローバル競争への対応など本県産業の更なる発展を担う人材が多数輩出されるものと大いに期待しております。

つきましては、貴学工学部の理工学部への改組の早期実現に向けて、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年11月16日

公益財団法人大分県産業創造機構

理事長 姫 野 清



# 要 望 書

国立大学法人大分大学

学 長 北 野 正 剛 殿

現在、人口減少社会の到来や農林水産業従事者の減少、景気低迷による需要の減退、グローバル化による価格の低迷など、国内の食品産業は大きく揺れ動いており、地域資源を活用したブランドづくりによる差別化や、低コスト化、生産性向上の取組など産地間競争は激しさを増しています。

また、少子高齢化やライフスタイルの変化、食品偽装問題などを背景に、嗜好性や安全性、価格など消費者ニーズが多様化し、外食・中食需要など消費行動や、産地直送など流通構造も大きく変化しています。このため、マーケット起点の発想に立ち、競争力のある産地づくりのための革新的技術の開発や、流通方法、販売先を強く意識した商品・技術開発が求められています。

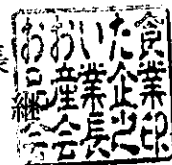
このたび貴学の工学部から理工学部への改組の構想はこれからの食品産業に求められる競争力のある製品の創出や安全性等の科学的根拠づけ、品質管理への生物統計の応用、ビックデータによるマーケティング分析等をにたう人材の輩出に非常に有意義であり、待ち望まれるものです。

工学部の理工学部への早期改組により、豊かな感性を持ち、大分にこれまではない食品産業の育成、その安全性等の分析やマーケティング力にたけた人材が輩出されることを大いに期待いたします。

平成27年12月10日

おおいた食品産業企業会会長

和田久



# 要 望 書

国立大学法人大分大学

学 長 北 野 正 剛 殿

我が国における科学技術を取り巻く社会経済の環境は、私たちの生活に密着したものをはじめ、人口減少、少子高齢化、グローバル化、産業競争力の低下、食糧・エネルギー問題等様々な課題を抱えており、県民生活の向上や、地域産業の振興のため、科学技術が果たすべき役割・重要性はこれまで以上に高まっています。また、平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、日本全体の経済産業システムやライフスタイルに大きな変革をもたらそうとしています。

こうした中、人々の暮らしをより良いものにするとともに、高い生産性と競争力を持ち、持続的に成長する地域産業を育てるためには、科学技術の絶えざる技術革新の成果を県民生活や地域産業に結びつける活動をさらに強化していくことが求められています。

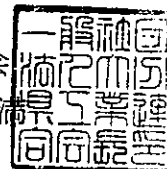
このたび貴学の工学部から理工学部への改組の構想は、これからの産業に求められ、また、新たな市場をつくる融合・複合分野での人材育成、新製品の創出や科学的根拠づけ、品質管理への統計の応用、ビックデータによるマーケティング分析等をにやう人材の輩出に非常に有意義であり、地域の産業にも貢献すると待ち望まれるものです。

工学部の理工学部への早期改組により、新産業の創出、競争力強化による多様な産業集積を推進するため豊かな感性を持ち、理工学の基礎に優れ、融合・複合の理工学の分野にたけた人材が輩出されることを期待します。

平成27年12月22日

一般社団法人 大分県工業連合会

会 長 磯 田



# 要 望 書

国立大学法人大分大学

学 長 北 野 正 剛 殿

大分県LSIクラスター形成推進会議では、半導体関連の地場企業と進出企業の共生・発展を図るために、産学官が一体となって戦略的に取り組んでおります。県内大手進出企業・地場企業の集積と得意技術の強みを活かして、国際的な競争力を有する21世紀の半導体生産拠点を目指しています。そのためには、産学官が一体となったネットワークを形成し、高度製造技術をより一層集積する戦略的な取組みを推進する必要があります。

おおいだLSIクラスター構想では、科学的な診断と体系的な技術確立によるソリューションの提供、さらに、公正な評価と情報の蓄積・発信、適切なカウンセリングを行う“半導体クリニック”の実現を目指しています。その実現には、研究開発、人材育成は、不可欠であると考えております。

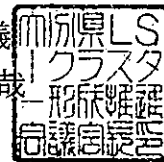
貴学の計画している理工学部への改組の構想は推進会議の求める広い視野を持った技術者の育成に非常に有意義です。

工学部の理工学部への早期改組により、新産業の創出の為の人材や競争力強化による多様な産業集積を推進するための豊かな感性を持った人材が輩出されることを期待します。

平成27年 1年15日

大分県LSIクラスター形成推進会議

会 長 森 重 哉



# 要 望 書

国立大学法人大分大学

学長 北野 正剛 殿

当センターは、商工業を中心とする県内産業の振興を目的に、「技術支援業務・研究開発業務・振興業務」などの各種施策に取り組んでいます。社会ニーズや産業界のニーズを的確にとらえ、ものづくり現場の支援機関「あなたの会社の研究室」として県内企業の発展をサポートしています。

本県のものづくり産業が今後も持続的に発展するためには、本県がすでに有するポテンシャルを最大限に活用するとともに、基礎から応用まで幅広い領域における科学技術の活用により、次世代産業の育成を加速させることが重要です。

しかしながら、基礎的・基盤的な科学技術を学ぶことができる「自然科学系の高等教育機関」は、本県には多くありません。学術的な科学技術の知見を有し、基礎的な研究開発に従事できる人材が本県にぜひとも必要であるという観点からも、県内の高等教育機関の拡充・整備を希望するところです。

このような状況の中、貴学における「理工学部改組」の構想は、非常に有意義です。「工学部」から「理工学部」への早期改組により、新産業の創出や産業集積の推進に必要となる、優秀な人材が本県内に多数輩出されることを期待いたします。

平成27年12年11日

大分県産業科学技術センター

センター長 平井 寿



# 要 望 書

国立大学法人大分大学

学 長 北 野 正 剛 殿

貴学が構想している「工学部の理工学部への改組」のについて以下のとおり要望します。

我が国における科学技術を取り巻く社会経済の環境は、大きく変化しており、人口減少、少子高齢化、グローバル化、産業競争力の低下、食糧・エネルギー問題等様々な課題を抱えております。それらは、当然、県内の製造業を取り巻く環境にも、これまでにない大きな変化を与え、現在それに直面しています。それら課題を解決し、今後の県民生活の向上や、地域産業の振興のため、科学技術が果たすべき役割・重要性はこれまで以上に高まっています。人々の暮らしをより良いものにするとともに、高い生産性と競争力を持ち、持続的に成長する地域産業を育てるためには、科学技術の絶えざる技術革新の成果を県民生活や地域産業に結びつける活動をさらに強化していくことが求められています。

このたび貴学の工学部から理工学部への改組の構想は、これからの産業に求められ、また、新たな市場をつくる融合・複合分野での人材育成、新製品の創出や科学的根拠づけ、品質管理への統計の応用等をにやう人材の輩出に非常に有意義であり、いくつかの問題を抱えている地域の企業にとっても、また、地域の産業にとっても大きく貢献すると考えられ、待ち望まれるものです。

工学部の理工学部への早期改組により、新産業の創出、競争力強化による多様な産業集積を推進するため豊かな感性を持ち、理工学の基礎に優れ、融合・複合の理工学の分野たけた人材が輩出されることを期待します。

平成27年12月28日

大分産業人クラブ会長

石井

